



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2016~2017年度クラブテーマ
会長 岩上 義明

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1405 / 2017. 04. 19

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「未来に向かって 皆で一歩前へ進もう！」

●本日の例会/ 2017年 4月 19日 第 1436 回

東京麻布RC・東京赤坂RC 合同例会(12:30~)

場所: ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1 「グローリー」

卓話: 「東京オリンピック、
そして 2024 年に向かって」

日本ローラースポーツ連盟
競技力強化委員会副委員 高萩 昌利 様

●前回報告/ 2017年 4月 14日 第 1435 回例会

卓話: 第 5 回クラブ協議会
テーマ: 「定款・細則について」



会長報告 :

地区より、2019 年に開催予定の国際ロータリー規定審議会への当地区代表議員および補欠議員を選出するため、当地区諮問委員会委員で構成する指名委員会を開催し決議した旨ご連絡がありました。2019 年国際ロータリー規定審議会地区代表議員に、東京西RC の辰野克彦氏、補欠議員には、東京飛火野RC 水野功氏が決まりました。

親睦活動委員会: (長谷川委員長)

①明日からの親睦旅行よろしくお願ひ申し上げます。
②4/28 の観劇会へ参加出来る方ご連絡ください。

西澤ガバナー補佐 :

4/25 に地区新会員セミナーが開催されます。可能な方はご出席ください。

熊本会員 :

国際大会参加の方へご連絡です。一度皆様と集まって調整したいと思います。ご連絡いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

研修委員会: (村山リーダー)

5 月 9 日火曜会前に新会員交流会をいたします。新会員の方よろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告 :

4/19(水)は合同例会ですのでお間違ひのないようお願ひします。4/21(金)は休会です。

5 月理事会

日時: 2017 年 4 月 7 日 (金) 午後 1:40~

場所: ANA インターコンチネンタル東京「ありあけ」

出席者: 岩上、河邊、小林、入沢、田村、藤井 (万)、
小原、土屋 計 8 名 (順不同・敬称略)

- 新会員歓迎会の日程については、5/15(月)、5/18(木)、5/23(火)の 3 日間の中から新会員の方の都合を伺い決定する。場所の候補は、白金にあるテンダーハウス。会費 12,000 円程度を予定。
- 新会員候補 2 名 (再入会の鈴木貞史氏、中森真紀子氏) の推薦受付を承認。
- 6 月 30 日 (金) 夜間例会・打ち上げ会の催しとしてマジックを候補とする。
- 4/14 のクラブ協議会は、大日方会員の定款説明のあと、各会員より意見を聞いていく。
- 会員増強に協力をいただいた西澤会員へ打ち上げ会のときに表彰する。
- 次回開催予定は 5 月 12 日 (金)。



4 月 14 日 10 件 20,000 円

累計 1,096,500 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明/本日の協議会、皆様宜しくお願ひ致します。河邊幸夫/大日方さん、今日の協議会宜しくお願ひします。土屋東一/熊本さんニコニコご苦労さま。西澤民夫/協議会は、よんどころこない用事があつて参加できません。石井謙次/岩上会長、火曜会 2 次会では沢山の会員がお世話になりました。吉田さん、吉岡さん、関さん、先日はお世話になりました。田村昭二/家の近くの桜は 50% 散ってますが昨日厚木のゴルフ場は満開でした。「散る桜、残る桜も散る桜」。石井達/熊本さんニコニコお疲れさまです。自宅のカエルも元気に育っています。十亀洋三/ハラハラヒラリ、熊本の震災から早 1 年。1 日も早い復興を心より祈念いたします。長谷川毅/明日からの親睦旅行宜しくお願ひします。新入会員歓迎会が 5/23 に決まりましたので、来週中にメールにて皆様に送らせて頂きますのでご出席宜しくお願ひします。熊本誠司/長谷川さん明日からの京都お世話になります。

出席報告: 会員 56 名 / 出席 26 名 欠席 30 名



「ミャンマー旅行」

大学同期集まりの活動の一つに東南アジアを中心とした旅行会「外国文化研究会」なるものがあります。これは参加会員の手作りによる旅行会であり、2月8日から15日まで、今回は第7回目となりますがミャンマーへ旅行をしてきました。

今回は7名の参加で事前打合わせ5回行い、PLGというミャンマーの旅行会社を使って当方の希望を強く反映したグループツアーとなりました。

今回の旅は南の大都会ヤンゴン、中部の王宮都市マンダレー、開拓の進んでいない北の都市ミッチナーを訪れたがそれぞれ違った顔を見せる。仏教国だけに微笑みの国の印象であり美人も多い。観光地として魅力的な国と思うがなぜか日本人観光客の姿はあまり見かけない。

旅の目的の一つに旧日本軍約18万人の戦死者の慰靈がありお参りしてきました。事前に「ビルマの豊饒」を読んだので至る所が戦場跡に思え、また各地に慰靈碑が建てられている。マンダレーの郊外ガンドージの畠の中にあった陸軍墓地を訪れた時、農家の子供たちとおばさんがお線香とお花を持ってきたときは感動した。其の他のいくつかの慰靈碑を訪ね供養した

もう一つの旅の目的は、到着初日、夜現地在住の同窓を訪ね会食をしながらミャンマーについての貴重な情報をいただいて、更に最終日にはヤンゴンで同窓の後輩が経営する日本料理店で会食し楽しい旅を締めくくった。

見どころは、ヤンゴンから車で230km離れ、そこからトラックで一時間乗り継いだ先の山頂にある「ゴールデンロック」は不思議な景色とともに敬虔な巡礼の地であることを実感した。またミャンマー最大の聖地でヤンゴンの中心にそびえる「シュエダゴン・パヤー」の壮大さと輝き、全部翡翠で出来ている「翡翠パゴー」、丘の上から見る「マンダレーヒルの夕日」、いずれもあまり見かけぬ景色に強くこころを打たれた。

文化について、違いは服装にも表れ男女とも民族衣装のロンジーをまとい、草履履き、日焼け止めにタナカという木粉を塗っている。トイレに温水洗浄便座は見当たらず、宗教心は強いがお墓は散骨か土葬かである。日本の中古車も多く走っており、信号機はほとんど見かけない。貨幣はチャットで物価は日本の10分の1です。タクシーにメーターの無いものも多いがぼったくりは無くリーズナブルである。

ミャンマーは旅行者にとって魅力満載の国であり、これから経済発展を通じ日本とますます繋がりが深まるものと期待されます。



「児童みんなで寄付した車椅子」

皆さんはプルタブをご存知ですか？1980年代頃、缶飲料の蓋はこのプルタブでできていて、缶本体から離れてしまうので、飲み干した空き缶に入れて捨てられることも少なく、このプルタブだけが、そこら辺にゴミとして落ちていました。道路の路肩に溜まっていたり、小学生の通学路にも見受けられ、怪我をしてしまう危険もありました。

小学校6年生の頃、図書館で環境問題について書かれた本を読みました。オゾン層の破壊、海面上昇により小さな島々が消え、住処を失う人々が出てくること、生態系破壊の危険があることなどを知りました。私は怖くなりました。被害を受ける動物や人々がかわいそうだと思いました。破壊活動を行う人間に憤りも覚えました。そして、何かできないかなあと思いました。

当時、私は児童会の副会長をしていました。委員会で環境問題を取り上げました。「全校児童でプルタブ回収活動をしよう！」ポスターを作り、校舎の数カ所に家庭で集めたプルタブの回収箱を設置しました。「プルタブ回収にご協力をお願いします。」と、委員達で授業と授業の間の休憩時間に呼びかけました。「持ってきたよ！」と、低学年の児童も、回収箱に入ってくれました。朝礼時には、どれだけ集まつたか、途中経過を報告すると、徐々に協力してくれる児童も増えてきました。とにかく集めることに必死で、ランドセルから出したビニール袋を片手に、通学路に落ちているプルタブも拾い集めました。

児童全員で集めたプルタブは何袋かになりました。児童会の先生がリサイクル業者さんとのやりとりをしてくれて、みんなで集めたプルタブは車椅子となり、足の不自由な方に寄付をすることができました。

一人ではできないことも、みんなで力を合わせればできたりする。ゴミとして捨てられていたプルタブが人の役に立つ車椅子に変わる。いいことができて良かった。言葉にできない嬉しさで心は満ちていました。

● 次回予告 / 2017年4月28日 第1437回例会

卓話：「健康のすべては快眠から始まる
～睡眠時無呼吸症候群について～」

虎ノ門病院 睡眠呼吸器科 睡眠センター
センター長 成井 浩司 様

※ 4月21日(金)は休会となります。